



特定非営利活動法人
和歌山からJリーグチームをつくる会
和歌山市松江中 3-2-20
TEL 073-488-3288 FAX 073-488-3289
●試合日程や選手の情報はウェブでチェック!
<https://www.arterivo.com/>

スポーツを通じて「夢・感動・活力」を届けたい！～NPO法人和歌山からJリーグチームをつくる会～

2025年にJリーグ昇格を目指して活躍するサッカーチーム「アルテリヴォ和歌山」。和歌山にサッカー文化が根付くように、地域密着型チームとなるべく奮闘中。そのチーム運営に取り組んでいるNPO法人和歌山からJリーグチームをつくる会のGM（ゼネラルマネージャー）の児玉佳世子さんと監督の北口雄一さんに、チームの課題やサッカーへの想い、今後の目標についてうかがいました。



アルテリヴォ和歌山のメンバーのみなさん

和歌山から 夢のフィールドへ

アルテリヴォ和歌山は、現在、地域リーグランキング1位。プロリーグのJリーグへの参入を目指して、まずはJFLへの昇格を狙っています。

働き方改革で 選手をバックアップ

選手の雇用などで経済を支えている地元スポンサー企業の支援の輪が広がっています。以前は、業務後に練習していましたが、疲労などでケガをすることが多く、今は朝に練習をし、その後仕事をするというスケジュールになっています。



今年、地域リーグ（アマチュアリーグ）で首位になると翌年、JFL（アマチュアリーグ）に昇格できます

スポーツツーリズム

地域企業との連携企画「キシュウノホコリ」ブランドを立ち上げ、オリジナルグッズを制作しています。コンテンツを充実させてPRし、地域とチーム

地元の人達の生活の中にサッカーが根付き、アルテリヴォ和歌山が地元にとって欠かせない存在となること。サッカー観戦が日常にあふれ、活気あるまちづくりに貢献したいと目を輝かせます。

みんなが笑顔で ワクワクする日々を

GMの児玉さんは初めてJリーグの観戦に横浜に行った時、衝撃を受けたといいます。スタジアムでサポーターが一体となって躍動感あふれる応援をしてみたい。街全体で盛大なカーニバルを繰り広げるムードを目の当たりにし、圧倒されたそうです。その瞬間から、和歌山にその光景を再現したいという夢ができました。

カーブに支障がないよう、企業側の配慮があるそうです。また、チームが勝ち進めば試合数が増え、出動できずに収入減となるシレンマがありました。選手が安心してプレーに専念できるように企業側も年間契約とするなど、環境も徐々に整備されてきました。

応援お願いします！

9月5日（日）10:30～
VS レイジェンド滋賀 FC
紀三井寺公園球技場/補助競技場

サッカースクール（小学生以下）

- 有田校…毎週月曜日開催
なぎの里総合グラウンド内室内コート（有田郡湯浅町湯浅 2362）
- 和歌山校…毎週水曜日開催
河西緩衝緑地公園 西松江緑地 野球場（和歌山市松江字 29 町場 2000）
- 紀の川校
毎週木曜日開催
旧粉河中学校体育館（紀の川市粉河 1479）



グッズ制作のため染色する大北選手

染物店とコラボしたオリジナルグッズ
選手が染めた布を用いたコースター

また、地元の子供たちにサッカーの魅力を伝えるため、定期的にスクールを開催しています。選手がこれまで培ってきたノウハウを惜しみなく継承し、U15の育成にも力を入れ、未来のスター選手の発掘に尽力しています。

ほかにSNS等での情報発信や、地域のマルシェとコラボするなど、スポーツを通して人々が楽しめる交流の場づくりを進めています。

サッカー観戦で盛り上がり活気ある街が実現することを楽しみに、これからの選手の活躍を期待したいと思います。

（編集・西峰祐美）

が一体になれるような企画の運営に取り組んでいます。



キャプテン大北啓介選手（MF）

和歌山市 NPO・ボランティア推進協議会だより

イベント | まちなか百姓養成塾

日時 9月15日（水）18:30～20:00
場所 和歌山市地域フロンティアセンター会議室（フォルテワジマ 6階）
内容 有機農法による秋冬野菜の栽培方法を学びます
参加費 500円（材料費）
定員 20名（事前申し込み必要）
主催 わかやまイネ！プロジェクト
まちなか百姓養成塾チーム
090-1156-6799、waiprojimu@gmail.com
備考 今後も奇数月第3木曜日に開催。今後の予定は以下の通りです。
11月17日 有機農法による秋冬野菜の栽培
1月19日 有機農法による土づくり
3月16日 有機農法による春野菜の栽培

内容 和歌山市内を移動しながら起業にまつわる話を聞きます。
・菱岡工業株式会社の取り組み（和歌山市中島）
・貴志川線の再生ストーリー（和歌山駅）
・おいけファームの仕掛け（大池遊園駅前）
講師 岡田 亜紀さん（菱岡工業株式会社代表取締役、NPO法人ジョイ・コム理事長）
志場 久起さん（認定NPO法人わかやま NPO センター副理事長・事務局長）
落合 彩矢さん（おいけファーム代表・ファイナンシャルプランナー）
足立 基浩さん（和歌山大学 副学長）
参加費 無料（別途、宮前～和歌山～大池遊園の往復の電車代 1,040円が必要）
定員 30名（事前申し込み必要）
主催 認定NPO法人健康とコミュニティを支援するなるコミ 073-471-3148 もしくは右のQRコードから申し込みを。



【おことわり】 イベント情報は掲載日時点での予定です。新型コロナウイルス感染症等の動向により変更になる可能性があります。詳細は主催者にお問い合わせください。

今回、和歌山へ移住希望されているお二人の方に「NPOのお仕事体験」として、取材に同行し記事を書いていただきました。コロナ禍で取材が一度延期になりましたが、新型コロナウイルスの「第5波」が来る前に実施できて、和歌山の雰囲気を感じていただけたと思います。お二人から取材の感想をいただきましたのでご紹介します。

- 大阪府在住の中橋ゆき恵さん
「プロを目指すサッカーチームの取材を通じて、「スポーツ愛・郷土愛・子ども達の未来」によりよい光を導く活動を行っている人々に触れ、サッカーには興味はなかったのですが、純粋に応援したくなりました」
- 三重県在住の太田陽介さん
「“アルテリヴォ和歌山”の存在は、地元のシンボルでもあり、新たなコミュニティを作る場として祝祭的に盛り上がってくれることを期待しています」

【お知らせ】

今号から、和歌山市地域フロンティアセンター（フォルテワジマ 6階）利用登録団体の有志で構成される「和歌山市 NPO・ボランティア推進協議会」から寄せられた、登録団体によるイベント情報やボランティア募集情報、団体の日常の活動に関する情報等を不定期にお知らせするコーナー「和歌山市・NPO・ボランティア推進協議会だより」をスタートします。

現在は新型コロナウイルス感染症対策を万全にしたうえで開催されるイベントが多くなっています。みなさまも感染対策を十分になさったうえで、ぜひご参加ください。

イベント | フォーラム・あるいてみよう 「地域の未来を考えた新しい起業のカたち」

日時 10月9日（土）13:30 JR 宮前駅集合
17:00 和歌山電鐵 大池遊園駅解散予定